

# 日本水環境学会シンポジウム講演集原稿執筆および発表要領 (博士研究奨励賞候補者用)

## I. 講演要旨原稿の作成要領(執筆例参照)

### 1. 原稿用紙および印刷方法

- (1) 原稿は A4判とし、左右各15mm、上20mm、下25mm の余白を取り、その枠内に文章、図表が収まるようにして下さい。
- (2) 原稿枚数は、図表も含め 4 枚または 6 枚です。
- (3) 印刷はモノクロです。

### 2. 原稿作成方法

- (1) 原稿の文字は9～10ポイントの活字(1行 45 字を目安)とし、行数は 50 行を目安として下さい。
- (2) 題目、発表者の所属および氏名は、1 枚目の 1～6 行に記入して下さい。
- (3) 題目は本文よりも**大きな活字**あるいは**ゴシック体**とし、題目は中央揃えにしてください。
- (4) 発表者の所属および氏名は右寄記入です。
- (5) 5～6 行に 1 コマ目から、題目、発表者の氏名および所属を英語でこの順に、コンマ区切りで続けて記入して下さい。所属は括弧書きとし、できるだけ省略した記載法を用いて下さい。なお、前置詞、接続詞等を除く単語は、最初の文字を大文字にして下さい。英語での原稿の場合、この要領で日本語を記入して下さい。
- (6) 本文は 2 段組とし、7行目から書き始めて下さい。2 段組のための中央部の空白は 5mm を目安にして下さい。本文は、目的、実験方法、結果、考察、結論などの項に分け、それぞれの文頭にこれらを明示して下さい。研究内容によりこれらの項に分けにくい場合は、項の一部を省略してもかまいませんが、上記に相当する内容を必要とします。
- (7) 記号や略号などは、学会ホームページの投稿論文執筆規定にならして下さい。  
(<http://www.jswe.or.jp/kais/jour/kitei/top.html>)
- (8) 講演要旨の内容に関する責任は著者にあり、当学会が責任を負うものではありませんが、特定の商品の宣伝と思われるもの、あるいは内容が不適当と認められるものは、返却もしくは訂正を求める事があります。

### 3. 図表の作成方法

- (1) 図表は黒色で鮮明に作成し、細かい字や図は避けて下さい。
- (2) カラーで作成した図表等を含む原稿は、モノクロでコピーもしくは印刷し、判別できることを確認してください。

## II. 論文原稿等の送付

1. 締切日: 水環境学会誌会告もしくは学会ホームページをご確認ください。
2. 送付物: 以下の書類を、原則として電子的に提出して下さい。
  - 1)論文(A4紙4または6頁)  
論文は、原著論文でも、また既発表の内容を含んだ博士課程における研究成果をまとめたものでも構いません。ただし、図表や文章をそのまま転載すると著作権違反に問われる場合がありますので、ご注意ください。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。講演要旨の内容に関する責任は著者にあり、当学会が責任を負うものではありません。
  - 2)関連する研究業績リスト  
次の通り、分けて記載をお願い致します。
    - ・学術雑誌論文(水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology, Water Research など)については、第一著者およびその他に分けて記載してください。
    - ・国際会議論文については、IWA 主催のものとはそれ以外のものに分け、更に発表者に○印を付けてください。
    - ・国内学会発表論文(講演概要)については、本学会関連のものとはそれ以外に分け、発表者に○印を付けてください。
  - 3)大学卒業以降の履歴書
  - 4)当学会の会員番号  
注)申し込みまでに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。
4. 応募書類送付・問い合わせ先:  
(公社)日本水環境学会シンポジウムオルガナセッション係  
Tel. 03-3632-5351  
E-mail: kubota@jswe.or.jp  
(@は半角に変更)

